

安全データシート

SDS 番号: SDSFG0009

最新改定日: 2017 年 5 月 22 日 (Rev.2)

FastGene™ DNA ラダー

1. 化学物質等及び会社情報

1.1 製品

製品名:

FastGene™ 50bp DNA ラダー (FastGene™ 50bp DNA ladder)
FastGene™ 100bp DNA ラダー (FastGene™ 100bp DNA ladder)
FastGene™ 1kb DNA ラダー (FastGene™ 1kb DNA ladder)

製品番号:

NE-MWD50 (50bp/500 µL)
NE-MWD100 (100bp/500 µL)
NE-MWD1 (1kb/500 µL)

1.2 製品の推奨用途と使用上の制限

専門ユーザー向け研究用試薬
アガロースゲル電気泳動用分子量標準として使用

1.3 供給者の会社情報

日本ジェネティクス株式会社
〒112-0004 東京都文京区後楽 1 丁目 4 番 14 号 後楽森ビル 18 階
電話番号: 03-3813-0961
ファックス番号: 03-3813-0962

1.4 緊急時連絡先

電話番号: 03-3813-0961 (祝祭日を除く、月曜日から金曜日の午前 9 時から午後 5 時 30 分)
E メール: info@genetics-n.co.jp

2. 危険有害性の要約

本製剤は、指令 1999/45/EC 又は指令 67/548/EC に基づき危険物に分類されない。
また危険のシンボルや危険の表示でラベリングされない。

| | |
|---------------|--|
| 物理化学的性質による有害性 | 本データは、いかなる物理的・化学的有害性も裏付けない。 |
| 人体の健康に対する有害性 | 不適正な取り扱いによりエアロゾルが生成することがある。 エアロゾルを吸入すると、敏感な人はアレルギーのような反応を起こすことがある。 長期に皮膚と接触すると軽微な刺激のおそれがある。 注意: 吸入、飲み込み及び皮膚への接触をしないこと。 |
| 環境有害性 | 本データはいかなる環境有害性も裏付けない。 |

3. 組成及び成分情報

成分:

| 化学名又は一般名 | 濃度又は濃度範囲 | EC 番号 | CAS 番号 |
|----------|--------------|-----------|-----------|
| 水 | >50% (v/v) | 231-791-2 | 7732-18-5 |
| グリセロール | 10-25% (v/v) | 200-289-5 | 56-81-5 |

他の成分:

本書に表示していない成分は、危険ではないか、濃度が EU 指令 1999/45/EC 記載の限度値を超えない。

追加情報:

リスクフレーズの表現については、16.参照のこと。

4. 応急措置

| | |
|-----------|--|
| 飲み込んだ場合 | 飲みこんだ場合、水で口とのどを完全にゆすぐ。 何か疾患がある場合医師と相談すること。 |
| 吸入した場合 | 吸入した場合、暴露しない場所に被災者を移す。 刺激性の症状や呼吸器のアレルギーが起こった場合、医師に相談する。 |
| 皮膚に付着した場合 | 通常本製品は、皮膚を刺激しない。 長期暴露の結果、刺激性の症状が起こった場合、医師に相談する。 |
| 眼に入った場合 | 眼に入った場合、眼を開け大量の水で数分間洗浄する。 何か疾患がある場合、医師と相談すること。 |

5. 火災時の措置

本製剤は火災を起こすことはない。

| | |
|---------------|------------------------|
| 適切な消火剤 | 水スプレー、二酸化炭素、粉末薬剤、適切な泡沫 |
| 不適切な消火剤 | なし |
| 分解生成物の特定暴露有害性 | 十分に調査していない。 |
| 保護具 | 自給式呼吸器及び保護衣を着用すること。 |

6. 漏出時の措置

| | |
|------------|--|
| 人体に対する注意事項 | 適切な手袋(8.参照)、安全眼鏡を着用し、少量の漏出、流出物を洗浄する。 蒸気/エアロゾルが発生した場合、適切な呼吸保護具を着用すること。 汚染場所を換気すること。 |
| 環境に対する注意事項 | 特別な対策は必要なし。 |
| 洗浄方法 | 液体結合剤で流出物を吸収する。 流出物を完全に除いた後、汚染場所を換気及び洗浄する。 |
| 追加情報 | 危険物質は漏出ししない。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

| | |
|-----|---|
| 取扱い | 特別な必要事項なし。 適切な人体保護対策を使用する(本書 8.を参照のこと)。 液体と接触させないこと。 エアロゾルを発生させないこと。 汚染場所を換気すること。 |
| 保管 | - 20°C で保管すること。 本製剤に関し、他の特定必要事項はなし。 |

8. 暴露防止及び保護措置

作業場所で監視が必要な限度値を有する成分:

本製品は、作業場で監視必要な臨界値を有する材料のいかなる相当量も含まない。

一般的保護及び衛生対策:

通常の予防措置は、化学品の取扱いと同じ。

技術的手段:

本製剤に関し、他の特定必要事項はなし。

人体の保護:

| | |
|--------|---|
| 呼吸用保護具 | 特別な対策は必要なし。 |
| 手の保護具 | ゴム手袋を着用する。 ゴムに対する特別必要事項なし。 |
| 眼の保護具 | 製剤を使う普通作業の場合、眼鏡(ゴーグル)をかける必要はない。 エアロゾルが発生する可能性がある場合、安全眼鏡をかけること。 |
| 皮膚の保護具 | 研究実験室での一般的予防措置をとる。(例えば、保護衣) 特定必要事項なし |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|------------|---------------------|
| 外観(物理的状态) | 緑色液体 |
| 臭い | 無臭 |
| pH | 8.0 (25°C) |
| 沸点 | 100°C |
| 引火点 | データなし |
| 燃焼性/自己燃焼性 | 本製剤は、燃焼性/自己発火性なし。 |
| 爆発性 | 本製剤は爆発性なし。 |
| 酸化性 | データなし |
| 蒸気圧 | データなし |
| 20°Cでの相対密度 | ~1g/cm ³ |
| 水溶性/水混和性 | 完全に混和する。 |
| 脂溶性 | データなし |
| 蒸気密度 | データなし |
| 蒸気速度 | データなし |
| 伝導度 | データなし |
| 粘度 | 粘性なし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|------------------------|
| 安定性 | 保管条件下で安定(本書 7.を参照のこと)。 |
| 避けるべき条件 | 危険な反応を起こす条件はない。 |
| 有害反応の可能性 | 危険な反応は、知られていない。 |
| 避けるべき物質 | 危険な反応を起こす物質ではない。 |
| 危険有害な分解生成物 | 危険な分解生成物は、知られていない。 |
| 危険有害な重合反応 | 有害重合反応は、起こらない。 |

11. 有害性情報

暴露形態:

| | |
|--------------|--|
| 吸入した場合 | エアロゾルを吸入すると、敏感な人はアレルギーのような反応を起こすことがある。 |
| 飲みこんだ場合 | 反復摂取あるいは過剰摂取は、胃腸管に刺激を起こすことがある。 |
| 皮膚及び眼に付着した場合 | 一般的に本製品には皮膚と眼に刺激性はない。 長期に皮膚及び眼と接触すると軽微な刺激のおそれがある。 |
| 追加有害性情報 | 仕様に従い使用し取り扱う場合、本製品は経験と提供情報に悪影響を及ぼさない。 |

本製品は、既存物質のリスク評価と管理に関する理事会規則 (EEC) No.793/93 で予測された優先リストに記載なし。

12. 環境影響情報

| | |
|---------|--|
| 環境有害性 | 本製剤は、移動性、残留性及び分解性、生体蓄積性、水生生物への有害性、その他の環境有害性に関するデータから、環境には危険性はないとされる。 |
| 残留性と分解性 | 本製剤は、容易に生分解される。 |
| 生物蓄積性 | 本製剤は、生物相に蓄積されないため食物連鎖を通ることはないと考えられている。 |
| 他の有害影響 | データなし |

13. 廃棄上の注意

本製品の廃棄は危険ではない。
現在の地方自治体法令に従う場合を除いて特別な廃棄方法は必要ない。

14. 輸送上の注意:

| | |
|---------|---------------------------|
| 特別予防措置 | 知られていない。 |
| 国連出荷正式名 | 輸送規制の観点から危険物ではない。 |
| 輸送規則 | 他の輸送規則は、本製品の供給元には知られていない。 |
| IMDG | 海上貨物として有害性なし。 |
| ADR | 陸上貨物として有害性なし。 |
| RID | 鉄道貨物として有害性なし。 |

| | |
|-----------|------------------------|
| ICAO/IATA | 航空貨物として有害性なし。 |
| その他の情報 | 本製剤は、輸送中冷凍(-20℃)保管される。 |

15. 適用法令

| | |
|-----------------------|-------|
| 化審法 | 非該当 |
| 労働安全衛生法 | 非該当 |
| 毒物及び劇物取締法 | 非該当 |
| 消防法 | 非該当 |
| 高圧ガス保安法 | 非該当 |
| 船舶安全法 | 非該当 |
| 航空法 | 非該当 |
| PRTR 法(化学物質排出把握管理促進法) | 非該当 |
| 麻薬及び向精神薬取締法 | 非該当 |
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | 産業廃棄物 |

16. その他の情報

上記の情報は正しいとされるが包括的であるとは言い難い。従って指針としてのみ使用すること。日本ジェネティクス株式会社は、上記製品の取扱いあるいはその接触の結果起こる損害についていかなる責任を負うものではない。